

日韓国交正常化 60 周年記念

韓国フェスティバル 2025 in 名古屋



中央左が大村秀章愛知県知事、その右に駐名古屋大韓民国金星秀総領事、右隣り一人目が堀江俊通会長、二人目が広沢一郎名古屋市長
駐名古屋大韓民国総領事館、韓国民団愛知・岐阜・三重県本部、韓国観光公社が主催する「韓国フェスティバル 2025 in 名古屋」が、11月22日（土）・23日（日）にエディオン久屋広場で開催され、昨年と同様に約15万人が来場し大盛況となった。

会場には韓国の食・音楽・伝統・観光・トレンドを体験できる多彩なブースが並んだ。韓国グルメでは、サムギョプサルや韓国焼肉、各種キムチ、キンパ、ホットク、トッポキ、海鮮チヂミ、タッカンジョンなどが勢ぞろいし、会場限定「サムヤンセット」も人気に。伝統文化体験や観光情報のブースのほか、大韓航空の抽選イベント、光州市や慶尚北道・慶尚南道、済州島のクラフトビールなど、韓国の魅力を幅広く紹介する内容となった。また、K-POPアーティストによるミニライブや日本のグループとの合同ステージなど、韓国の音楽と最新トレンドに触れられるプログラムも2日間にわたり実施され、来場者を楽しませた。

オープニングセレモニーでは、堀江俊通フェスティバル実行委員会副委員長が「韓国の文化と食文化を楽しんでほしい」



駐名古屋大韓民国 金星秀総領事

と挨拶。続いて金星秀総領事が、「韓日国交正常化60周年という節目の年にイベントを開催できたのは大きな喜びです」と述べ、文化交流による友情と相互理解の深化に期待を寄せた。大村秀章愛知県知事は韓国語で挨拶され、その後続いて祝辞を述べ、両国の協力関係や地域交流の進展に触れながら、友好のさらなる発展を願った。広沢一郎名古屋市長も、多くの市民が韓国文化に触れる意義を語り、続いて愛知県・名古屋市の日韓議員連盟の代表者や韓国民団愛知県本部団長らが挨拶をした。

テープカット後は華やかなステージが開幕。1日目は、和太鼓演奏、K-POP・J-POPグループのライブ、瀬戸市と姉妹都市である京畿道利川の無形文化財「亀遊び・サムルノリ」、安賜勳氏の特別出演、白竜氏のトークショー、韓服ファッションショー、4人組K-POPボーイズグループTRIGGER、パク・ジュニョン氏など多彩なステージが続いた。2日目も国楽バンドや伽耶伝統舞踏団の演舞やK-POPダンスや多国籍グループSWEET:CH、男性グループNUL、ANTARES、SPAX、Sanha氏などが出演。J-POPからはグランドルメ、delaも参加し、BOYS AND MENがフィナーレを飾った。